

編集 後記

近年、世界各地において異常気象といわれる状況が頻発しています。今年も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染法上の位置づけが5類に移行されて初めての夏となりましたが、全国で酷暑の日が続き、また大型の台風が直撃して災害が発生するなど、気候・気象によって引き起こされる健康リスクや社会への影響も公衆衛生上の大きな課題になってきています。一方でCOVID-19の感染者数が増加している傾向が示されるなど、引き続き警戒が呼びかけられています。

第70巻9号では特別論文1編、原著1編、公衆衛生活動報告1編、資料2編が掲載されています。特に古屋らの特別論文では本学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会健康危機管理グループの活動報告とともに、COVID-19の経験を踏まえた健康危機管理の重要課題の整理と今後の現場活動に向けた提言・展望がまとめられています。

また竹内らの原著では高齢者のフレイル対策について、桑原らの公衆衛生活動報告では公衆衛生専門職大学院での教育の現状と課題について、梅本らの資料ではがん医療の提供体制の現状と課題について、大木らの資料ではCOVID-19感染拡大ががん診療に及ぼす影響についてそれぞれ論じられています。このように本号では、公衆衛生学での課題がいかに多岐にわたり複合的であるかを改めて感じるような、幅広い内容の論文が集まっています。

10月31日から第82回日本公衆衛生学会総会が茨城県つくば市で開催されます。本年は会場での現地開催による発表(ライブ配信はなく、後日オンデマンド配信を行う)となる予定です。是非現地において、様々な立場から、多様なテーマでの議論が活発に行われることを期待したいと思います。(高橋邦彦)

次号予告(第70巻・第10号)

特別論文

公衆衛生と公衆衛生看護のコンピテンシーの比較と明確化：平成29/30年度公衆衛生看護のあり方に関する委員会活動報告……………江川優子，他

原著

地域在住高齢者における腰痛と身体活動、座位時間との関連：横断研究……………中村睦美，他
「健康支援型」道の駅の利用と主観的健康感：3時点パネルデータを用いた縦断研究

……………熊澤大輔，他
養育里親における活動満足感と活動負担感の関連要因：横断研究……………石井陽子，他

公衆衛生活動報告

川口市の高齢者施設対象のCOVID-19に関する研修実施報告：全国自治体との比較
……………中山文子，他